

# 事業実績報告書

様式 2  
(2023年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-01	講座名	ごきそテクノカフェ
記載日	2023/9/24	団体名・企業名	名古屋工業大学ごきそ技術士会
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>名古屋工業大学ごきそ技術士会は「ごきそテクノカフェ」を、技術に関する最新の情報、技術がもたらす問題や便益について、最新の情報をご紹介しますながら市民と技術者が一緒に話し合う機会を持つため継続して開催してきました。2020年7月からはZoomを利用したオンライン開催に移行しました。2023年度前期は、2020年度後期に引き続き「脱炭素」をテーマに、全5回を開催しました。2023年度前期からは、希望者にはごきそテクノカフェの内容をYouTubeからの講演や議論の内容をご覧頂けるようにしました。</p>			
		<p>1. 脱炭素とは</p> <p>(1) 脱炭素の定義は？</p> <p>地球温暖化の原因となる代表的な温室効果ガスである二酸化炭素の排出量をゼロにしようとする取り組み。二酸化炭素排出が実質ゼロになった社会のことを「脱炭素社会」と言う。</p> <p>カーボンニュートラルとは二酸化炭素を含む温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすること。</p> 	
※写真1の説明		※写真2の説明	
ごきそテクノカフェ 2023年4月開始時の様子		ごきそテクノカフェ 2023年7月開始時の様子 (講演中の様子)	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>2023年度前期の「ごきそテクノカフェ」は2022年度後期に引き続き、Zoomを利用したオンライン開催とした。これまでオンラインを継続してきたことが浸透しはじめてきて、名古屋近郊からの参加者、名古屋近郊以外の参加者を含め、毎回19名以上の参加となった。参加者からはJR鶴舞駅高架下商店街の喫茶サンデンでの対面開催の再開を望む声もあるが、コロナ感染のリスクもあるため、今後も引き続きオンラインのみになる見込みである。講師からは、脱炭素をテーマにすることが難しいという意見もある。今後はプラスチックの専門家による現在の脱炭素の議論に一石を投ずるような内容も検討している。さらに名古屋工業大学の先生にも講師をお願いしていて、参加者のさらなるご期待に応えるようにしたいと考えている。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<p>カーボンニュートラル技術を科学的に深堀してもらい参考になった。</p> <p>基礎的な化学式から各エネルギーについての説明をいただき、とても分かりやすく、勉強になりました。</p> <p>クイズからの出題形式でとても分かりやすかったです。何気なく使用しているエアコンですが、現在快適に使用できている歴史と機能の説明が大変勉強になりました。</p> <p>とてもよくわかりました。</p> <p>都市づくりと脱炭素社会のつながりが参考になった。</p> <p>CO2を小規模でも吸着できるということが、知識として得られた。</p>			